

藤前干潟クリーン大作戦

<3つの目的>

ラムサール条約に恥じない藤前干潟にする

子供達が安心して遊べる干潟や川を取り戻す

流域全体のごみや水のことを考えるネットワークを形成する



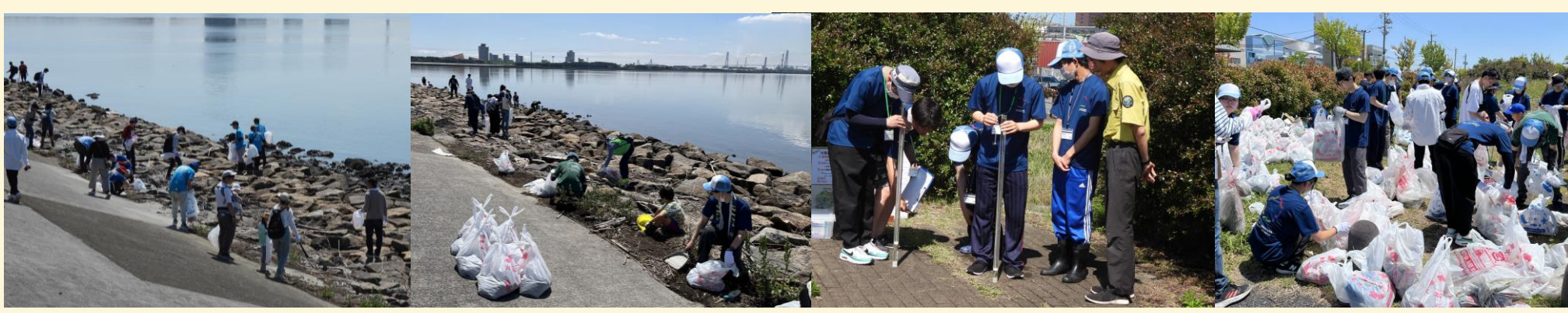
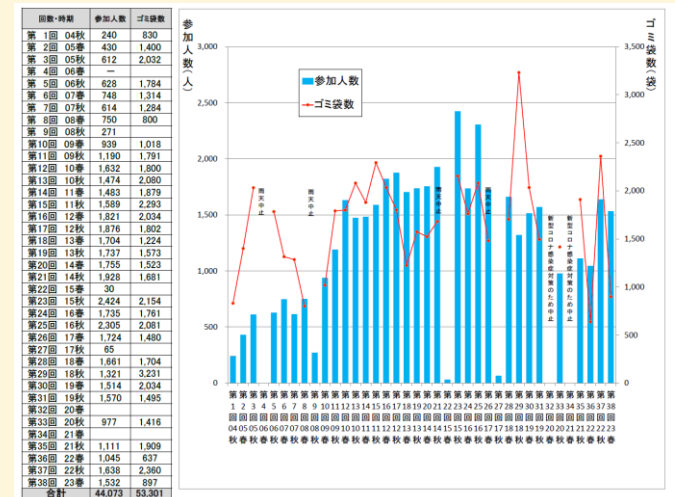
藤前干潟とは



藤前干潟は、土岐・庄内川、新川、日光川の河口にあり、ごみの埋め立て予定地でした。しかし、市民運動の力によって計画は中止となり、2002年11月には、国設鳥獣保護区の指定とともに、ラムサール条約の登録湿地となりました。日本有数の渡り鳥の飛来地である藤前干潟は、生命のつながりと私たちの暮らしのあり方を教えてくれる貴重な場所です。

藤前干潟クリーン大作戦とは

「藤前干潟クリーン大作戦」は、藤前干潟とその周辺の護岸が上流などから運ばれたペットボトル、ビニール袋、発泡スチロールなどの大量のごみに覆われている姿を目にした4つの市民団体によって2004年10月に「藤前干潟クリーン大作戦実行委員会」を結成して始めた清掃活動です。現在は15団体で活動しており、春と秋の年2回の大規模な清掃活動を市民団体や地元住民、教育機関、企業、行政などと協力して行っています。



実行委員会の構成団体

河川自然環境保全復元団体リバーサイドヒーローズ、土岐川・庄内川流域ネットワーク、NPO法人エコストック実行委員会、NPO法人藤前干潟を守る会、NPO法人モリゾー・キッコロと環境活動を推進する会、庄内川川ナビ歩こう会、I P G (産業廃棄物専門家集団)、かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議、土岐川・庄内川源流の森委員会、名古屋市稲永スポーツセンター、(一社)ClearWaterProject、萌木舎、中部大学ボランティア・NPOセンター、名古屋市野鳥観察館(東海・稲永ネットワーク)、中部大学上野研究室

協力団体

名古屋市港区の明德学区・当知学区・高木学区・神宮寺学区・港西学区・野跡学区・南陽学区・福田学区、大日本土木株式会社、豊田合成株式会社、イオンスタイル名古屋茶屋、公益社団法人名古屋清港会、愛知県保険医協会、名古屋港管理組合、藤前干潟ふれあい事業実行委員会(事務局:名古屋市環境局環境企画課)、名古屋市環境局、名古屋市上下水道局打出水処理センター、名古屋市環境局港環境事業所、名古屋市緑政土木局港土木事務所、港区役所、愛知県尾張建設事務所、国土交通省庄内川河川事務所、環境省中部地方環境事務所

